

個人企業経済調査 調査結果

(東松島市内個人企業調査と統計資料等活用による調査・分析データの比較・分析)

2018 年度版

東松島市商工会

目次

調査の概要.....	2
調査の目的	2
調査方法.....	2
総務省統計局「個人企業経済調査」の平成 29 年度結果の概要	3
I 平成 29 年度の売上高及び営業利益	3
1 製造業	3
2 卸売業, 小売業.....	3
3 宿泊業, 飲食サービス業	3
4 サービス業	3
表 4 産業別売上高及び営業利益	4
図 41 産業別売上高の対前年度比の推移	4
図 42 産業別営業利益の対前年度比の推移.....	5
東松島市内小規模個人企業動向調査結果	6
1. 東松島市景気の実績	6
(1) 売上実績	6
(2) 収益実績	6
1. まとめ	8
<参考：H30 年決算速報値>	9

調査の概要

調査の目的

個人企業営業状況調査は、個人企業の経営の動向に関する資料を得ることを目的とし、小規模事業者が外部環境としての経済動向を把握し、事業計画策定における基礎資料として活用するため、各種統計資料と地域内小規模事業者を対象にしたアンケート調査により地域の経済動向を収集、分析する。

調査方法

(1) 総務省統計局「個人企業経済調査」について

統計法に基づく基幹統計調査(基幹統計である個人企業経済統計を作成するための調査)として、個人で「製造業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」又は「サービス業」を営んでいる事業所の経営実態を明らかにし、景気動向の把握や中小企業振興のための基礎資料などを得ることを目的としておこなわれている「個人企業経済調査」データを活用して調査・分析を行う。

(2) 「東松島市内小規模個人企業動向調査」について

東松島市商工会において決算・申告指導をおこなった実データを活用して調査・分析を行う。

分析・評価を行う際には、外部データの評価方法と整合性を保つためにDIを活用している。DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略であり、「良い／悪い」「増加／減少」などの定性的な判断を指標として集計・加工した指数である。

総務省統計局「個人企業経済調査」の平成 29 年度結果の概要

I 平成 29 年度の売上高及び営業利益

1 製造業

平成 29 年度の1事業所当たりの売上高は 951 万 5000 円で、これに対する費用は売上原価が 328 万 6000 円、営業費が 374 万 5000 円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 248 万 4000 円となった。

対前年度比をみると、売上高は(+) 4.1% で、2年ぶりに増加した。また、営業利益は(-) 0.1% で、2年連続で減少した。

2 卸売業, 小売業

平成 29 年度の1事業所当たりの売上高は 1496 万 4000 円で、これに対する費用は売上原価が 1006 万 5000 円、営業費が 325 万 9000 円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 164 万円となった。

対前年度比をみると、売上高は(+) 3.6% で、5年ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 16.3% で、4年ぶりに増加した。

3 宿泊業, 飲食サービス業

平成 29 年度の1事業所当たりの売上高は 880 万 8000 円で、これに対する費用は売上原価が 369 万 5000 円、営業費が 345 万 8000 円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 165 万 5000 円となった。

対前年度比をみると、売上高は(+) 5.8% で、2年ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 7.3% で、2年ぶりに増加した。

4 サービス業

平成 29 年度の1事業所当たりの売上高は 484 万 3000 円で、これに対する費用は売上原価が 75 万 6000 円、営業費が 228 万 8000 円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は 179 万 9000 円となった。

対前年度比をみると、売上高は(+) 4.7% で、4年ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 8.9% で、2年ぶりに増加した。

表 1 産業別売上高及び営業利益

		製 造 業		卸売業, 小売業		宿泊業, 飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実 数 (千円)	平成24年度	9,595	2,546	16,858	1,650	8,497	1,475	4,899	1,753
	25	9,069	2,611	16,284	1,748	8,513	1,604	5,055	1,759
	26	9,071	2,493	16,113	1,705	8,514	1,618	4,968	1,764
	27	9,448	2,678	14,968	1,631	8,916	1,621	4,960	1,766
	28	9,143	2,486	14,438	1,410	8,326	1,543	4,626	1,652
前年度比 (%)	平成25年度	-5.5	2.6	-3.4	5.9	0.2	8.7	3.2	0.3
	26	0.0	-4.5	-1.1	-2.5	0.0	0.9	-1.7	0.3
	27	4.2	7.4	-7.1	-4.3	4.7	0.2	-0.2	0.1
	28	-3.2	-7.2	-3.5	-13.5	-6.6	-4.8	-6.7	-6.5
	29	4.1	-0.1	3.6	16.3	5.8	7.3	4.7	8.9

図 1 産業別売上高の対前年度比の推移

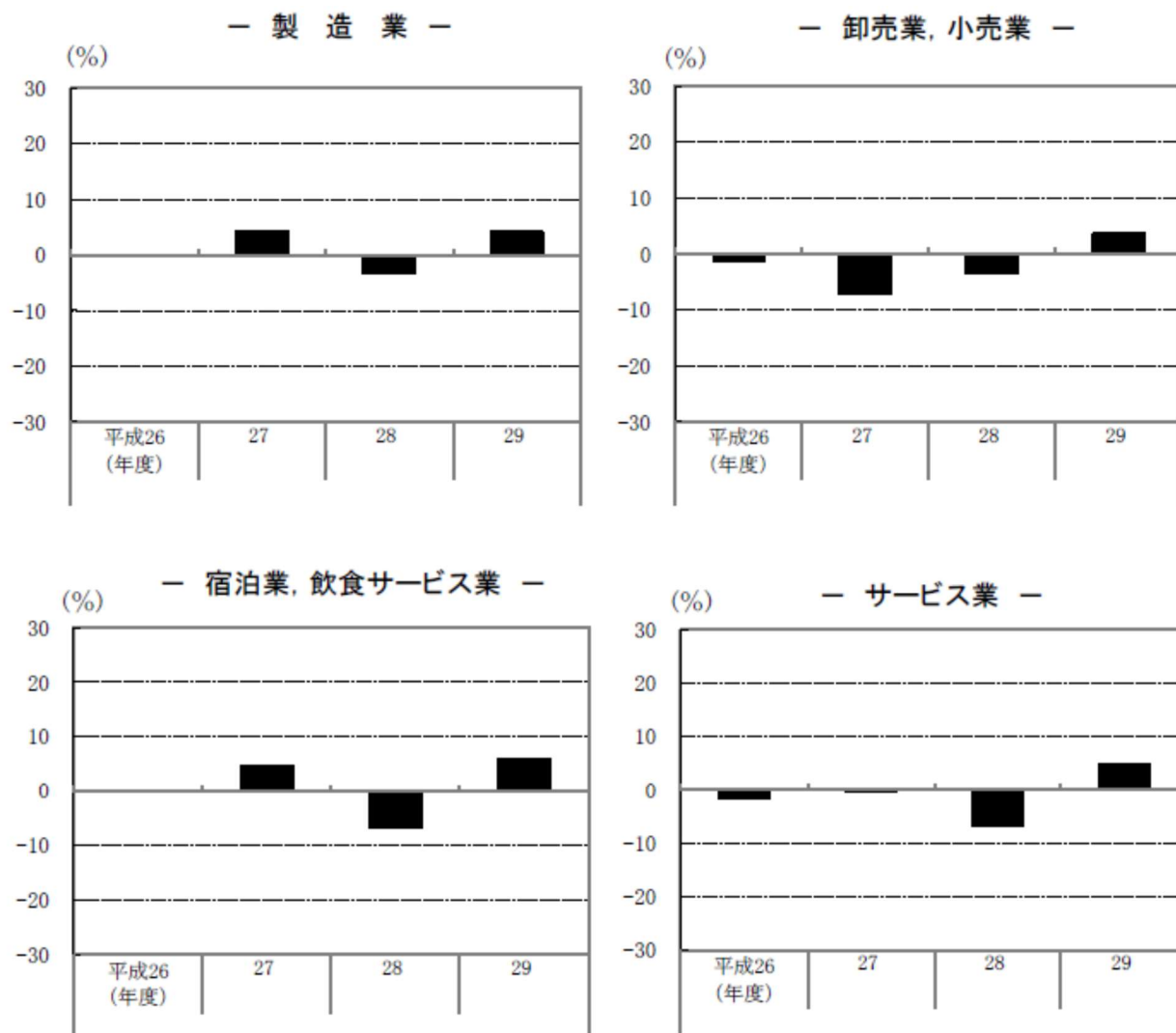
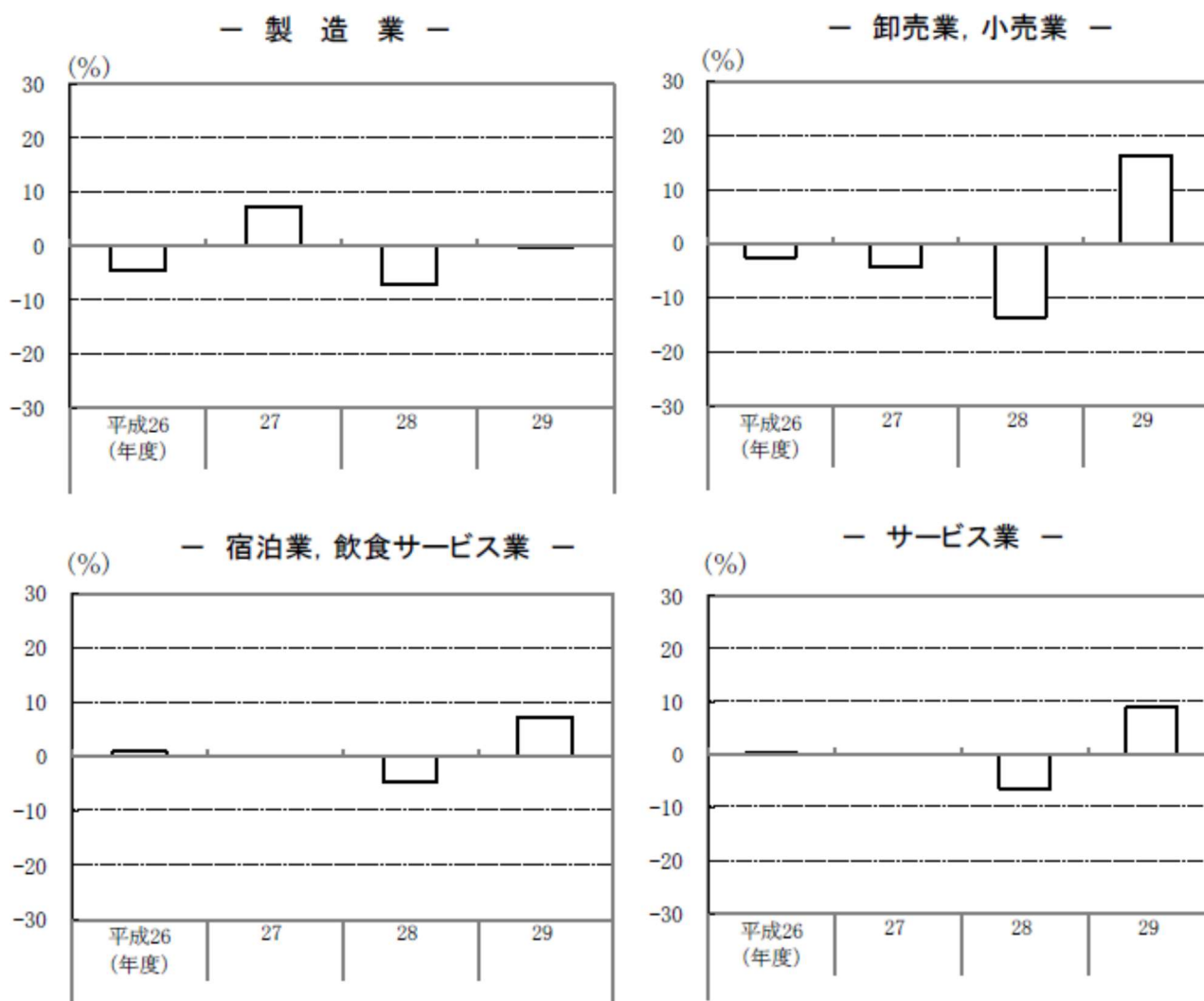


図2 産業別営業利益の対前年度比の推移



東松島市内小規模個人企業動向調査結果

- ・調査対象企業（東松島市内小規模個人企業）
平成 28 年 150 企業（製造 14 企業、建設 45 企業、小売 38 企業、
卸売 0 企業、サービス 48 社、その他 5）
平成 29 年 155 企業（製造 15 企業、建設 46 企業、小売 37 企業、
卸売 0 企業、サービス 49 社、その他 8）
- ・実績 平成 28 年 1～12 月期（平成 27 年 1～12 月期実績と比べて）
実績 平成 29 年 1～12 月期（平成 28 年 1～12 月期実績と比べて）
- ・調査期間 平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日（速報値：平成 31 年 3 月）

1. 東松島市景気の実績

— 東松島市内小規模個人企業の景況感は、建設業では復興需要が終息へ向かっている影響をうかがわせる。製造業では売上実績、収益実績とも 3 年連続で上昇、小売・サービス業では売上高の上下幅を確認できるものの収益に大きな差はなかった。今後については震災後から現在に続く慢性的な人手不足と原材料等の高騰から予断を許さない状況にある。—

(1) 売上実績

- A. 全産業の平成 29 年 1～12 月期実績は「▲7.9」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「48.1」から 56.0 ポイント低下した。
- B. 業種別にみると、製造業では平成 29 年 1～12 月期実績が「▲20.0」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「28.6」から 48.6 ポイント低下。建設業では平成 29 年 1～12 月期実績が「▲8.7」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「35.6」から 44.3 ポイント低下。小売業では平成 29 年 1～12 月期実績が「▲2.7」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「57.9」から 60.6 ポイント低下。サービス業では平成 29 年 1～12 月期実績が「▲8.2」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「58.3」から 66.5 ポイント低下。また、その他の業種では平成 29 年 1～12 月期実績が「0.0」となり、平成 29 年 1～12 月期実績「60.0」から 60.0 ポイント低下した。

内訳をみると、平成 28 年 1～12 月期売上実績 DI はすべての業種がプラスであり、特にその他産業に分類される水産関係では「60.0」と好調であった。これが、平成 29 年 1～12 月期実績 DI では、前年並みであったその他産業「0.0」を除くすべての業種でマイナスに低下した。

(2) 収益実績

- A. 全産業の平成 29 年 1～12 月期実績は「12.0」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「23.0」から 11.0 ポイント低下した。

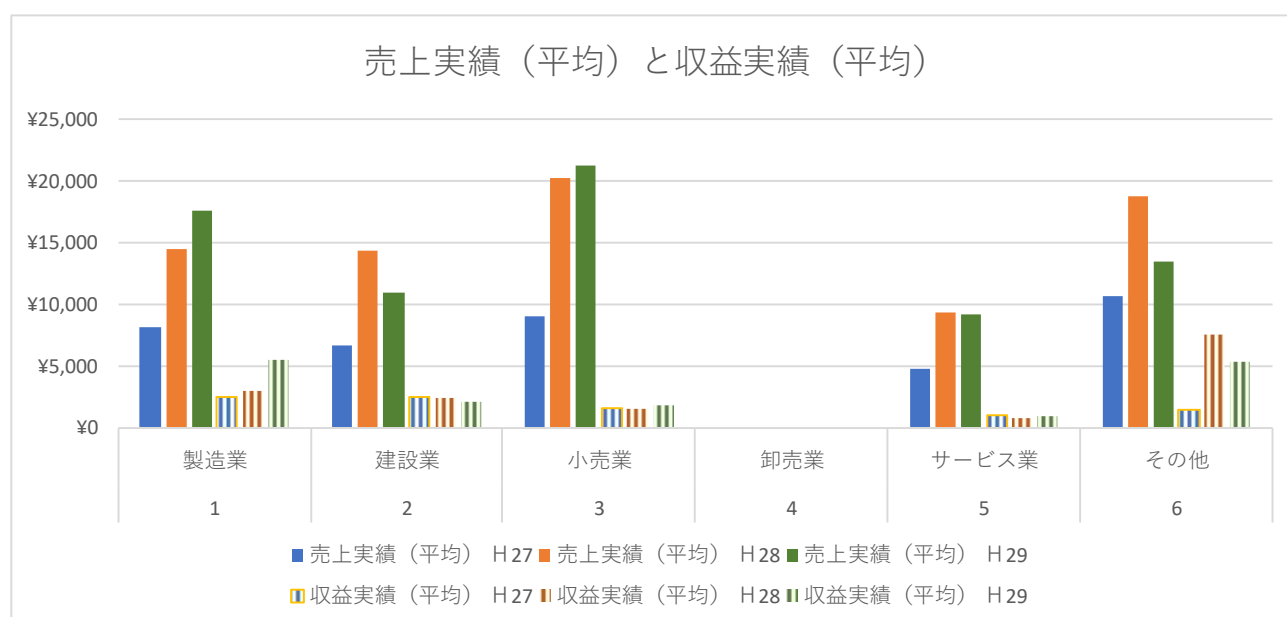
B. 業種別にみると、製造業では平成 29 年 1～12 月期実績が「40.0」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「21.4」から 18.6 ポイント上昇。建設業では平成 29 年 1～12 月期実績が「6.5」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「6.7」から 0.2 ポイント低下。小売業では平成 29 年 1～12 月期実績が「▲13.5」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「13.2」から 26.7 ポイント低下。サービス業では平成 29 年 1～12 月期実績が「14.3」となり、平成 28 年 1～12 月期実績「▲6.3」から 20.6 ポイント上昇。また、その他の業種では平成 29 年 1～12 月期実績が「12.5」となり、平成 29 年 1～12 月期実績「80.0」から 67.5 ポイント低下した。

内訳をみると、平成 28 年 1～12 月期収益実績 DI はサービス業を除くすべての業種がプラスであり好調であった。平成 29 年 1～12 月期実績 DI では、小売業がマイナスに転じたものの、サービス業はプラスに転じ、小売業を除くすべての業種でプラスであった。特に製造業では「40」と前年の 2 倍を示す結果となった。

売上実績（平均）と収益実績（平均）

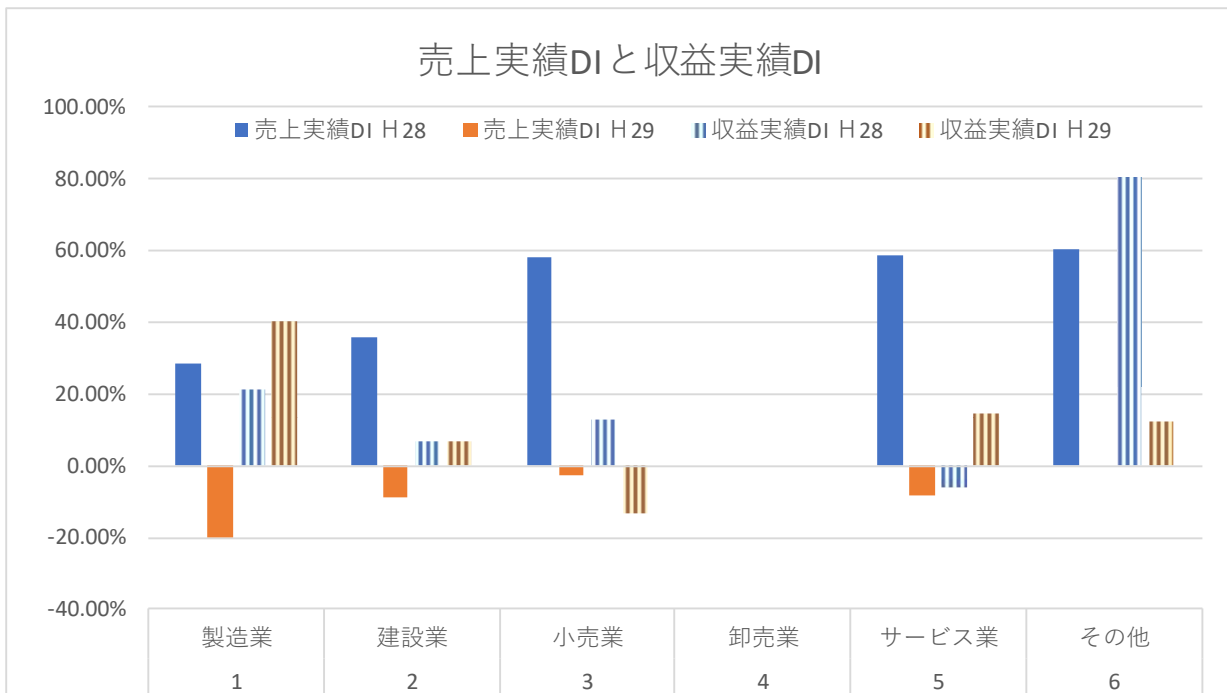
単位（千円）

No	業種	売上実績(平均)			収益実績(平均)		
		H27	H28	H29	H27	H28	H29
1	製造業	¥8,108	¥14,558	¥17,634	¥2,530	¥2,966	¥5,456
2	建設業	¥6,649	¥14,397	¥11,023	¥2,469	¥2,482	¥2,186
3	小売業	¥9,076	¥20,282	¥21,285	¥1,579	¥1,460	¥1,800
4	卸売業						
5	サービス業	¥4,789	¥9,339	¥9,259	¥987	¥805	¥955
6	その他	¥10,625	¥18,776	¥13,482	¥1,454	¥7,640	¥5,435



売上実績DIと収益実績DI

No	業種	売上実績DI		収益実績DI	
		H28	H29	H28	H29
1	製造業	28.57%	-20.00%	21.43%	40.00%
2	建設業	35.56%	-8.70%	6.67%	6.52%
3	小売業	57.89%	-2.70%	13.16%	-13.51%
4	卸売業	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
5	サービス業	58.33%	-8.16%	-6.25%	14.29%
6	その他	60.00%	0.00%	80.00%	12.50%



1. まとめ

総務省統計局「個人企業経済調査」(全国)によれば総じてどの業種の売上及び利益とも、平成27年に比べ平成28年は落ち込み平成29年に回復している。

東松島市内個人企業を見ると建設業を除き平成27年から平成29年にかけて右肩上がりの実績を示した。しかしDI値をみると平成29年は、どの業種もマイナス値であり一部の事業者への集約化が加速されてきていることがうかがわれる。今後、復興需要の終息化と相まって転廃業を余儀なくされる事業者の増加が懸念される。

<参考：H30年 決算速報値>

(1) 売上実績

- A. 全産業の平成30年1～12月期実績は「▲30.3」となり、平成29年1～12月期実績「▲7.9」から22.4ポイント低下した。
- B. 業種別にみると、製造業では平成30年1～12月期実績「▲50.0」となり、平成29年1～12月期実績「▲20.0」から30.0ポイント低下。建設業では平成30年1～12月期実績「▲11.1」となり、平成29年1～12月期実績「▲8.7」から2.4ポイント低下。小売業では平成30年1～12月期実績「▲41.2」となり、平成29年度1～12月期実績「▲2.7」より38.5ポイント低下。サービス業では平成30年1～12月期実績「▲32.7」となり、平成29年1月～12月期実績「▲8.2」より24.5ポイント低下。また、その他の業種では平成30年1～12月期実績「▲16.7」となり、平成29年1～12月期実績「0.0」より16.7ポイント低下した。

内訳をみると、平成30年1～12月期売上実績DIはすべての業種でマイナスであるため、どの業種も後退している。

(2) 収益実績

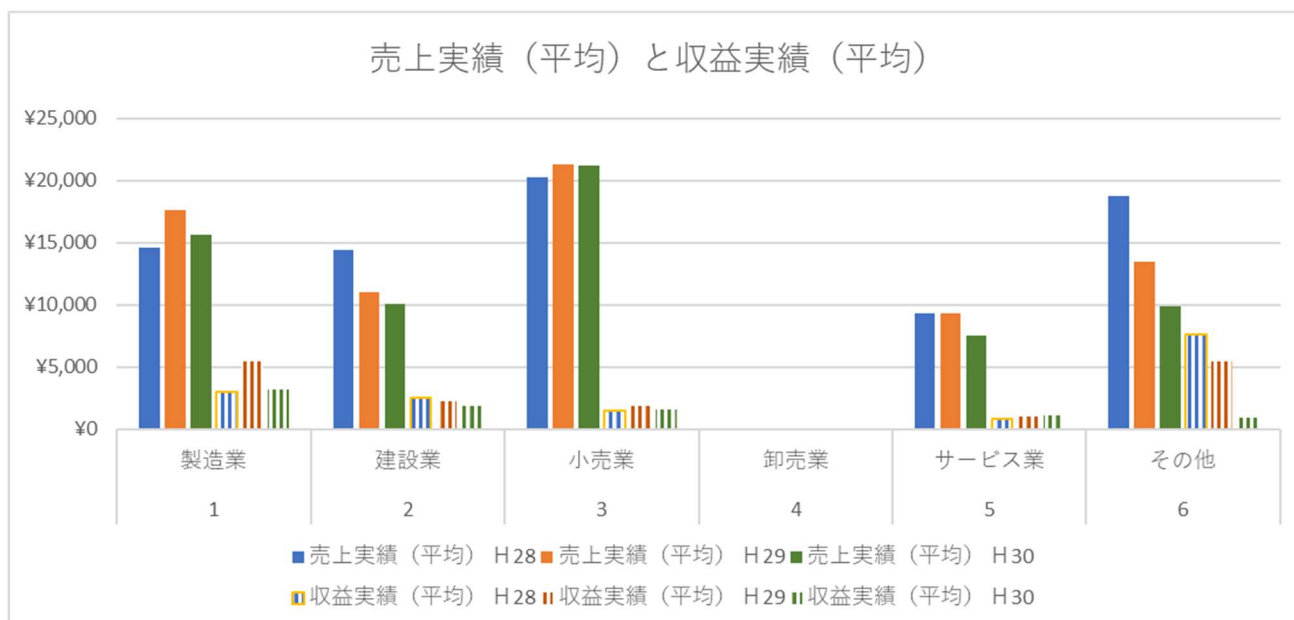
- A. 全産業の平成30年度1～12月期実績は「▲23.3」となり、平成29年1～12月期実績「12.0」から35.3ポイント低下した。
- B. 業種別にみると、製造業では平成30年1～12月期実績「▲58.3」となり、平成29年1～12月期実績「40.0」から98.3ポイント低下。建設業では平成30年1～12月期実績「▲2.2」となり、平成29年1～12月期実績「6.5」より8.7ポイント低下。小売業では平成30年1～12月期実績「▲5.9」となり、平成29年1～12月期実績「▲13.5」より7.6ポイント上昇。サービス業では平成30年度～12月期実績「0.0」となり、平成29年1～12月期実績「14.3」より14.3ポイント低下。また、その他の業種では平成30年1～12月期実績「▲50.0」となり、平成29年1～12月期実績「12.5」より62.5ポイント低下した。

内訳をみると、平成30年1～12月期収益実績DIではすべての業種でマイナスとなっていたため、すべての業種で後退している。

売上実績（平均）と収益実績（平均）

単位（千円）

No	業種	売上実績(平均)			収益実績(平均)		
		H28	H29	H30	H28	H29	H30
1	製造業	¥14,558	¥17,634	¥15,604	¥2,966	¥5,456	¥3,171
2	建設業	¥14,397	¥11,023	¥10,048	¥2,482	¥2,186	¥1,820
3	小売業	¥20,282	¥21,285	¥21,165	¥1,460	¥1,800	¥1,569
4	卸売業						
5	サービス業	¥9,339	¥9,259	¥7,544	¥805	¥955	¥1,064
6	その他	¥18,776	¥13,482	¥9,824	¥7,640	¥5,435	¥928



売上実績DIと収益実績DI

No	業種	売上実績DI			収益実績DI		
		H28	H29	H30	H28	H29	H30
1	製造業	28.57%	-20.00%	-50.00%	21.43%	40.00%	-58.33%
2	建設業	35.56%	-8.70%	-11.11%	6.67%	6.52%	-2.22%
3	小売業	57.89%	-2.70%	-41.18%	13.16%	-13.51%	-5.88%
4	卸売業	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
5	サービス業	58.33%	-8.16%	-32.65%	-6.25%	14.29%	0.00%
6	その他	60.00%	0.00%	-16.67%	80.00%	12.50%	-50.00%

